

導入促進基本計画

1 先端設備等の導入の促進の目標

(1) 地域の人口構造、産業構造及び中小企業者の実態等

ア 地域の人口構造

坂町は広島都市圏東部に位置し、広島市と一体となった経済圏を形成しています。都市部に隣接し、広島市や呉市からの交通利便性が高いという特性があります。令和2年国勢調査によると、人口は緩やかな減少傾向にあり、表1に示すとおり、全国の割合と比較して、生産年齢人口の割合が低くなっています。

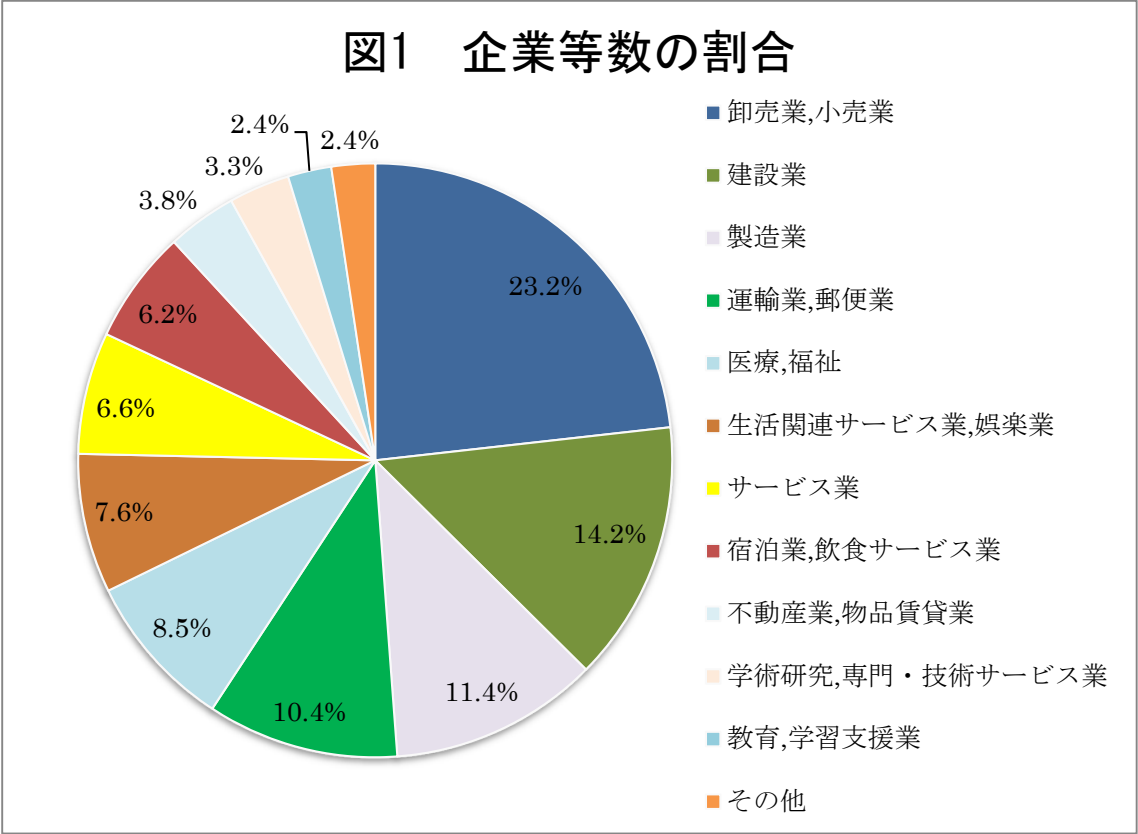
表1 坂町の人口構造

令和2年国勢調査	人数	割合	全国の割合
総人口	12,582 人	—	—
老年人口（65 歳以上）	3,719 人	29.6%	28.6%
生産年齢人口（15 歳～64 歳）	7,037 人	55.9%	59.5%
年少人口（0 歳～14 歳）	1,826 人	14.5%	11.9%

(出典：令和2年国勢調査)

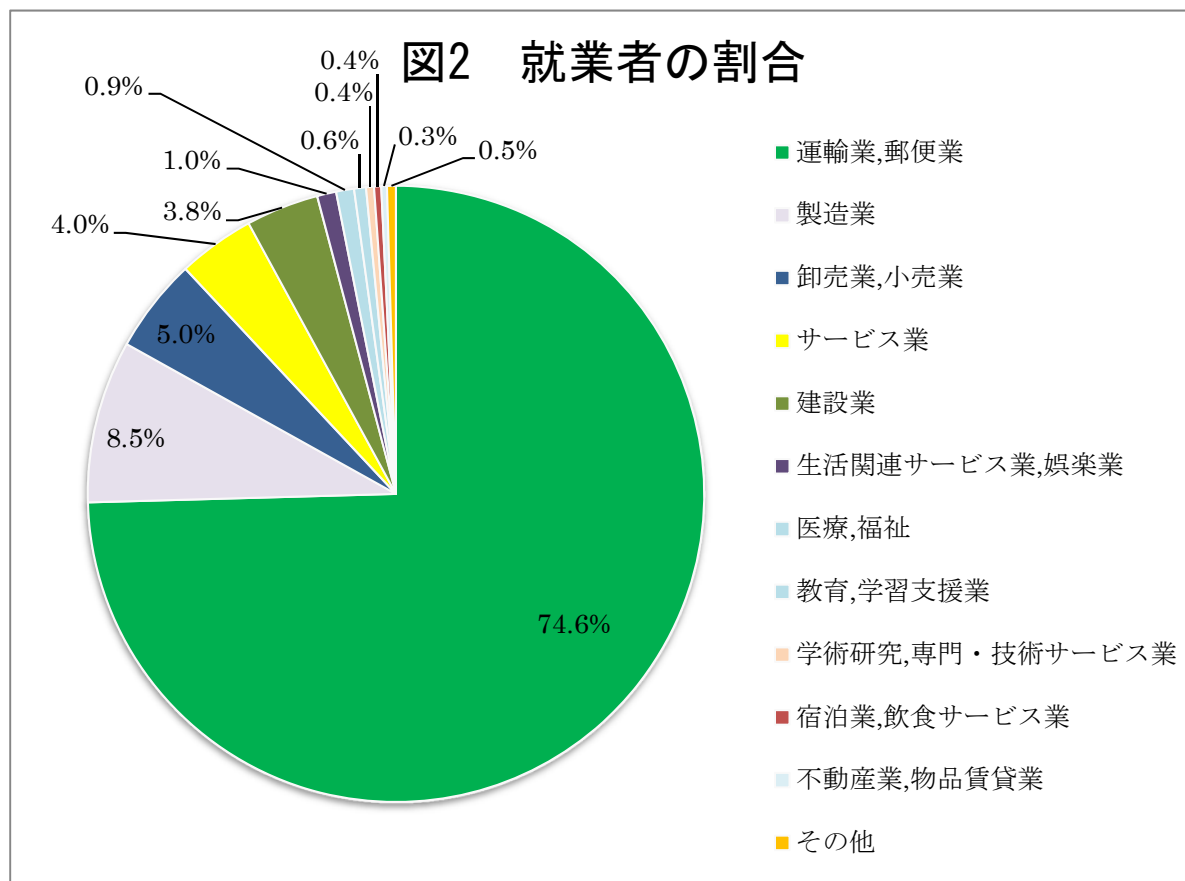
イ 産業構造

坂町の産業を企業等（事業・活動を行う法人（外国の会社を除く。）及び個人経営の事業所）の数で示すと図1のとおりです。「卸売業、小売業」の割合が23.2%と相対的に高く、次いで建設業14.2%、製造業11.4%、運輸業10.4%の順となっています。



(出典：令和3年経済センサス・活動調査（速報値）)

一方、就業者の割合で示すと図2のとおりです。企業等数の割合では10.4%であった運輸業・郵便業の就業者割合は74.6%と、全体の約4分の3を占めており、次いで、製造業8.5%、卸売業・小売業5.0%の順となっています。これらは、東部流通団地及び平成ヶ浜地区などに所在する事業所への就業者の影響が大きいことを表しています。



(出典：令和3年経済センサス-活動調査（速報値）)

ウ 中小企業者の実態

坂町内における事業者は、中小企業者が多くを占めており、地域経済の活性化における重要な担い手となっています。このため、広島安芸商工会坂支所等とも連携し、先端設備等の導入を促すことで労働生産性を向上させる必要があります。

(2) 目標

計画期間中に4件（年2件）程度の先端設備等導入計画の認定を目標とします。

(3) 労働生産性に関する目標

先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性（中小企業等の経営強化に関する基本方針に定めるものをいう。）が年率平均3%以上向上することを目標とします。

2 先端設備等の種類

中小企業等経営強化法施行規則第7条第1項に定める先端設備等全てとします。

3 先端設備等の導入の促進に関する事項

(1) 対象地域

本計画において対象となる区域は町内全域とします。

(2) 対象業種・事業

本計画においての対象は全業種・全事業とします。

4 計画期間

(1) 導入促進基本計画の計画期間

令和5年4月1日～令和7年3月31日とします。

(2) 先端設備等導入計画の計画期間

3年間、4年間又は5年間とします。

5 先端設備等の導入の促進に当たって配慮すべき事項

- (1) 雇用の安定に配慮するため、人員削減を目的とした取組を含めないこと。
- (2) 公序良俗に反する取組を行わないこと。
- (3) 反社会的勢力との関係が認められるものでないこと。
- (4) 町税等の滞納がないこと。